

産経新聞 2018年(平成30年)10月8日(月)

家族を支えた「彼」との別れ

大学生 河嶋雄大³ 23

先日、オスの愛犬が死んだ。最期は私の両親にみとられ、旅立った。

13年前に「犬を飼いたい」と、兄妹で言ったのがきっかけだった。

やはり「彼」が家族を支えていたと思う。4人で暮らしているときは、家族の会話を盛り上げてくれた。

妹が寮暮らしになったさきは、精神的なよりどころとなった。私が高校を休みがちで、辞めようと思ったとき、何もいわずにそばにいてくれた。

私が一人暮らしを始め、両親だけとなったときも、子供のいない寂しさを埋めてくれたと思う。

最後に会ったのはゴールデンウィーク。幼かった「彼」が、すっかりおじいさんになっていた。

「絶対に小学校教諭になるからね」と、夢を伝え続けてきた。ようやく夢に届くところまで来た。苦しかったことや大変だったことも乗り越えられた。家族を代表して、「ありがとう」。(奈良市)